平成　21 年　10 月　15 日

各　　位

会 社 名　スターバックス コーヒー ジャパン 株式会社
代表者名　代表取締役最高経営責任者（CEO）
岩田　松雄
（コード　2712　大証ヘラクレス）
問合せ先　ファイナンス&アドミニストレーション統括オフィサー　北川　徹
（TEL. 03-5412-7481）

業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績の動向等を踏まえ，平成 21 年 5 月 12 日に公表した平成 22 年 3 月期第 2 四半期累計期間（平成 21 年 4 月 1 日～平成 21 年 9 月 30 日）及び通期（平成 21 年 4 月 1 日～平成 22 年 3 月 31 日）の業績予想を下記のとおり修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

1. 平成 22 年 3 月期第 2 四半期累計期間業績予想の修正（平成 21 年 4 月 1 日～平成 21 年 9 月 30 日）

（単位：百万円，％）

	売上高	営業利益	経常利益	四半期純利益	1 株当たり四半期純利益
前回発表予想（A）	49,700	2,400	2,500	1,100	771 円 20 銭
今回修正予想（B）	48,550	4,050	4,150	2,050	1,436 円 78 銭
増減額（B－A）	△1,150	1,650	1,650	950	―
増減率（％）	△2.3%	68.8%	66.0%	86.3%	―
（ご参考）前期第 2 四半期実績（平成 21 年 3 月期第 2 四半期）	47,979	2,842	2,968	1,546	1,085 円 41 銭

2. 平成 22 年 3 月期通期業績予想の修正（平成 21 年 4 月 1 日～平成 22 年 3 月 31 日）

（単位：百万円，％）

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1 株当たり当期純利益
前回発表予想（A）	97,000	3,800	4,000	1,800	1,261 円 97 銭
今回修正予想（B）	94,600	5,450	5,600	2,700	1,892 円 34 銭
増減額（B－A）	△2,400	1,650	1,600	900	―
増減率（％）	△2.5%	43.4%	40.0%	50.0%	―
（ご参考）前期実績（平成 21 年 3 月期）	96,592	5,511	5,776	2,985	2,095 円 17 銭

3.　修正の理由

（1）第２四半期累計期間の業績予想の修正理由

一段と悪化した失業率、消費者の節約志向の高まりなど、外食業界は依然厳しい環境が続き、売上高は期初の想定を２％程度下回る水準で推移しております。一方、利益につきましては、昨年来取り組んできました収益性改善の効果が大きく現れたことや、予定していた一部の経費の発生が下半期へずれ込んだことなどによって、当初の利益予想数値を上回る見込みとなりました。特に、商品・品質・サービス向上のために進めてきました品揃えの最適化、店舗設備・機器の改善や、調達・配送形態の見直し、トレーニングの強化などの取り組みが、業務の効率化にもつながり、利益額向上に貢献いたしました。

（2）通期の業績予想の修正理由

下半期につきましても、消費市場を取り巻く環境は依然不透明であり、当社にとっても引き続き厳しい事業環境が予想されます。従いまして、下半期の既存店売上高は上期同様に期初の見込みを２％程度下回る前年比９３％程度となることが見込まれます。通期での新規出店数は約３０店舗（ライセンス店舗を含む）と期初見込み通りです。

当社は、収益体質改善が進捗したことを踏まえて、下半期においては、中長期の安定的な成長を見据えた投資を加速させてまいります。具体的にはお客様のスターバックス体験を更に高めるため、人材や店舗環境に約８億円を追加的に支出する予定です。以上の見通しを踏まえ、通期につきましても当初の利益予想数値を上回る見通しとなりました。

※上記の業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいたものであり、実際の業績は今後の様々な要因によって記載内容と異なる可能性があります。

以　上